

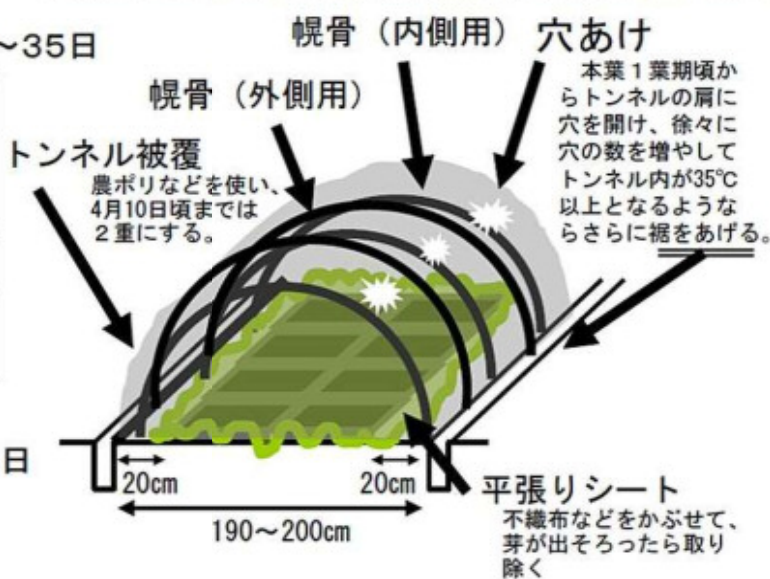


1株3本植した場合の1反当たりの苗箱数

播種量 g/箱	栽植密度 (株/坪)			
	70株	60株	50株	37株
180g	11	9	8	6
160g	12	10	9	6
140g	14	12	10	7
120g	16	13	11	8
100g	19	16	13	10
80g	23	20	16	12

【ビニルハウス育苗】稚苗:20~22日 中苗:30~35日

	出芽期間 (2~3日) は種~3日後	緑化期間 (3~4日) 3~6日後	硬化期間	
			6日後~ 田植え3日前	田植え3日 前~田植え 当日
昼	30~32℃	22~25℃	18~20℃	開放
夜	30~32℃	15~18℃	12~15℃	開放(気温 5℃以上)



【トンネル育苗】稚苗:24~26日 中苗:35~45日

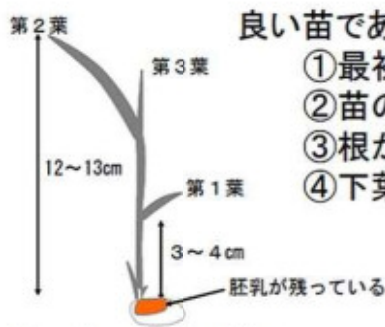
出芽期間~田植え3日前	田植え3日前~田植え当日
10~35℃	開放(気温5℃以上)

## 温度管理

**昼** 気温が低くても晴れるとハウスやトンネル内の温度が高くなりやすく、焼けによる枯死や根張りが悪くなります。30℃以下で管理するようにしましょう！

**夜** 気温が低く霜が降りることもあり、低温障害が発生しやすいので、寒い夜は通気性のある被覆資材などで保温に努めましょう！

稚苗 (2.2~2.3葉)



良い苗である4つの条件

- ①最初の葉までの高さが低い。
- ②苗の高さが揃っている。
- ③根が多く出ている。
- ④下葉が枯れていない。

図. 良い稚苗の姿

**【お知らせ】認定農業者の申請に関するご相談は、営農センターまたは各支店窓口にて随時実施しております。(土日祝を除く)**

# 水稲の育苗管理

J A西びわこ営農部

## 《健苗づくりのポイント》

- ・種子更新の励行(毎年) JA米の必須要件
- ・薄まきの励行 播種量は規定量を守る。
- ・種子消毒、陰干し、浸漬、催芽を的確に行う。
- ・適期に播種をする。(平均気温10℃以上 4月中旬頃)
- ・温度管理、水管理を的確にして徒長苗にしない。

## 育苗箱の消毒

イチバン 1,000倍液 瞬時浸漬 (浸漬後水洗いしない)

## 育苗用土

苗箱一箱あたりに必要な育苗用土は4~5ℓ

市販培土  
(肥料入り)

びわこ2号培土  
びわこ3号培土  
粒状WK培土

市販培土  
(肥料なし)

びわこ1号培土

山土

酸度矯正

pH4.5~5.0

サンドセットで調整

肥料の混合

細粒 8 6 8 1 5 g/箱

農薬の混合

タチガレエースM粉剤 7 g/箱

厚さ2cm程度  
(少ないと苗が浮きやすい)

床土入れ

- ・苗箱の下から水が出る程度に十分に灌水する
- ・覆土後はダメ

灌水

催芽

催芽温度30℃

催芽器 30℃で1~2日

風呂 30℃で1~2日

長さ1ミリ



ハトムネ状の粃

水切り

播種

## 薄まき、均一な播種を心がけよう!

播種規定量  
薄まきによる効果

乾粃で稚苗120g/箱、中苗100g/箱(催芽粃は2割り増し)  
移植後の活着がよく、分けつも旺盛となる。

覆土

厚さ4~5mm程度(粃が見えたらダメ)  
少ないと苗もちがやすくて、粃も持ち上がり根転びしやすい。

## 種粃

温湯消毒

化学合成農薬は使用せず温湯消毒でもち病・ばか苗病・もみ枯れ細菌病などを防止します。  
60℃の湯に10分間つける。  
10分間つけ終わったら、すぐに冷水で冷やし、水切りをする。  
すぐに浸種を始めない場合は、脱水してよく乾かし、低温・低湿で保管する。

消毒

同時処理24時間浸漬

水 10ℓ(10℃以上)

スミチオン乳剤 10cc

テカリトC707フル 50cc

かげ干し

24~48時間くらい陰干しして葉の付着をよくする

浸種

吸水量を高めて、発芽をそろえる。  
水温15℃以下で、日の当たらない場所で行う。

水の交換は2~3日毎

浸漬日数 水温(℃) 10℃で10日間  
15℃で7日間

浸種早見表(田植日から逆算)

田植予定	浸種日	播種日
5月1日	稚苗 3月30日	4月11日
	中苗 3月20日	4月1日
5月10日	稚苗 4月4日	4月20日
	中苗 3月25日	4月10日
5月20日	稚苗 4月22日	5月1日
	中苗 4月16日	4月25日

【注意】温湯消毒済の粃は毎日、水の交換をして下さい。